

⑤ 9月18日（金） 6年3組教室・校長室

高学年グループ提案授業参観（6年3組・木下泰造先生）・事後の研究協議会への参加

金曜日のグループ授業研究会では、大変お世話になりありがとうございました。

校長先生の力強いリーダーシップのもと、先生方が、学校教育目標の実現に向け、共創の学校づくりを進められている様子を参観させていただいて感動しました。泰造先生の魅力ある学級経営とご授業、6年生をはじめとする高学年グループのチームワーク溢れる真摯な授業研究、対話にしっかりと向き合い、確実に育ってきている6年生の姿など、嬉野小学校のすばらしさを、これまでの取組の積み重ね、ご努力をさらに感じ取らせていただいたように思います。また、この日は、嬉野中学校の木原正和校長先生をはじめ、中学校の先生も授業に参加されていました。すでに数回、小中で授業交流をされていると聞き、嬉野小学校と嬉野中学校の小中連携の取組が積極的に図られていることを感じました。小学校6年間と中学校3年間で有機的につなぎ、子ども達を9年間のスパンで計画的に育てていく小中連携の取組がこれからも着実に進んでいくものと大きな期待を寄せています。

今回の授業研究は、6年生の1組から3組までの三人の学級担任の先生方が、1組から順番に一つの提案授業を実践し、授業後に高学年グループで検証し、課題を明らかにした上で課題解決の方策をグループで練り上げ、次の授業実践へとつなげる大変意義深い授業研究でありました。嬉野小学校の国語科の校内研究がさらに深まっていくものであり、互いに教師の力量形成につなげるすばらしい取組をされていて、大変魅力的な授業研究でした。

研究協議の直前まで、学校の畑仕事をされていた先生もいらっしゃいました。時間に追われながらも、忙しい時間を削って協議会の時間をつくり、共によりよい授業づくりをめざす先生方の姿がそこにはありました。私が、学校から帰ろうとした時、下駄箱の近くで、すねていた男の子の気持ちを、親身になって聞かれている先生も見かけました。すべては、嬉野小学校の子ども達のために……。教師としての力量を高め、よりよい学校をつくりあげていくために……。学校の先生は、よく「忙しい」といわれますが、学習面・生活面・心情面、家庭環境等、子ども達一人ひとりのあらゆる面に配慮しながら、日々一生懸命にがんばっておられる姿に心が動かされます。

急な訪問にもかかわらず、永池校長先生をはじめ諸先生方には、いつも気持ちよく受け入れていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今日は、おいしい給食までご馳走になり、ありがとうございました。またの機会を楽しみにしております。これからも、嬉野小の魅力やお取組のよさ、先生方のご努力をしっかりとみとり、学校や先生方の自信や元気を膨らませる魅力ある学校づくりのスポークスマン的な役割を大切にしていきたいと考えています。